

ほくぶNNだよ!

第31号
令和5年12月発行

令和5年度小牛田農林高等学校 農業農村整備事業学習会を開催しました!

12月5日(火)に、宮城県小牛田農林高等学校にて、農業土木コース1年生35名を対象に「令和5年度小牛田農林高等学校農業農村整備事業学習会」を開催しました。この学習会は、農業農村整備に関する理解を深め、学校での学習や今後の進路選択に役立ててもらうために、平成18年度から毎年開催しているものです。

7月に開催した学習会では、ダムや頭首工など水利施設の見学や世界農業遺産の現地研修を行いました。今回は講義やワークショップを行いました。

講義



講義では、農業農村整備事業について理解を深めることを目的とし、講師は当部の若手職員が務めました。「農業土木とは何か?」といった基本的な説明や、当部が行う農業農村整備事業の役割について説明しました。また、県の組織体系、農業土木の技術職員数や、当部には小牛田農林高等学校のOBOGが多く所属し、活躍していることをお話ししました。

次に、生徒の皆さんが、将来の仕事について考えるきっかけとなるよう、小牛田農林高等学校のOGである職員から農業土木技師の仕事について説明をしました。例えば、午前中は担当している工事の現場立会を行い、午後は関係機関との打合せを行うなどです。他には、現在担当している業務について紹介することで、生徒の皆さんにとって、農業土木の仕事が具体的にイメージしやすいものとなりました。

最後に、国内における宮城県の農業の位置付けや宮城県の農業が現在、抱える問題を紹介しました。

このような講義によって、農業農村整備事業の重要性の理解を深めるとともに、自分たちの住む宮城県の農業の現状がどうなっているのか、問題意識を持つことのできる有意義な講義となりました。



- 講義①「農業土木と農業農村整備」
- 講義②「北部地方振興事務所の概要」
- 講義③「農業土木技師のお仕事」
- 講義④「みやぎの農業」



ワークショップ

テーマ 「みやぎの農業を守るには」 Step1:みやぎの農業が 抱える問題 Step2:みやぎの農業の 将来像(夢)

ワークショップでは、「みやぎの農業を守るには」というテーマについて話し合いました。他人のアイデアを否定することなく、お互いのアイデアに対して、質問や提案をするなど、どのグループも活発な話し合いとなっていました。中には、祖父母が農家であることから、農家視点の意見を言う生徒もいました。

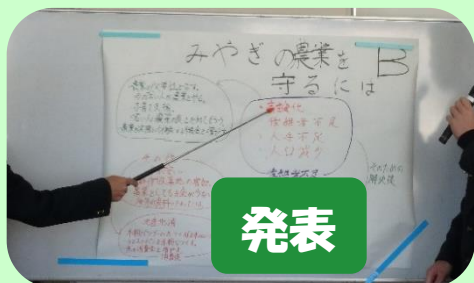
Step 1では、「高齢化」や「後継者不足」を問題として挙げるグループが多く、ほかには「耕作放棄地」を取り上げるグループもありました。

Step 2では、農作業の効率化のために「ロボットの導入」や若者に農業に興味を持ってもらうために「YouTuberにPRしてもらおう」ことや「農業体験ができる企画を作る」など高校生らしい発想豊かなアイデアが出ました。



最後にグループでの話し合いをまとめたものを発表しました。発表の内容に対して、どのようにして実施するのかなど、積極的に質問をする生徒が多く見受けられました。

ワークショップを通して、グループで話し合うことの楽しさに気付き、また、宮城県の農業について、自分事として考えてもらうきっかけとなった学習会となりました。



発表

生徒の皆さんからは…

農業土木とはどんな仕事があり、地域にどのように貢献しているかを知ることができた。農業土木職員が進路選択の一つとなった。

班の皆で話し合うことがあまりなかったためこういう機会があって良かった。

**この学習会が生徒の皆さんにとって
今後の学びや進路選択の一助に
なれば幸いです。**

特定家畜伝染病における 防疫(埋却)演習を行いました

10月17日(火)に、大崎市三本木にて「特定家畜伝染病の発生時における防疫(埋却)演習」を行いました。県職員、建設業協会の会員など100名ほどが参加しました。

本演習は、家畜伝染病が発生したことを想定し、病気を封じ込め、蔓延を防止するために伝染病にかかった家畜の埋却処理などについて確認することによって、有事の際に適切で速やかな対応が行うことを目的としています。

～防疫(埋却)演習の流れ～

最初に防護服の着衣演習を行いました。防護服2枚、マスク、ゴーグル、手袋2枚など順番に着衣を行います。ウイルスが入ってこないように袖や裾をガムテープで固定します。



次に埋却演習では、掘削(くっさく)済みの埋却穴に消石灰の散布、ブルーシートの敷設や汚染物(汚染物に見立てたトンプック)の投入を行いました。これらは交互に繰り返し行うことによって汚染物を封じ込めます。



最後に防護服脱衣演習を行いました。ゴーグルやマスクを脱ぐ際に、内側に触らないよう気を付けて、脱ぐたびに消毒をします。これはウイルスを外に持ち込まず、かつ自分の身を守ることを目的としています。



家畜伝染病が発生しないことを祈るばかりですが、万が一起きた場合には、適切で速やかな対応ができるよう引き続き備えていきます。

大崎市田尻で「子実とうもろこし」の収穫が行われました

9月14日に大崎市田尻にて、「令和5年度第3回子実とうもろこし現地見学会」が開催されました。全農みやぎ、JA古川、東北農政局など140名ほどが参加しました。子実とうもろこしとは、とうもろこしを完熟させ、子実だけを収穫したもので、濃厚飼料のひとつです。

当日は、115馬力の汎用コンバインにより、収穫が行われました。このコンバインは、子実とうもろこしの他、水稻、麦や大豆など複数の作物に対応でき、コスト低減を図ることができます。また、子実とうもろこしの茎や葉を排除し、実の部分だけを効率的に収穫することができます。約1ヘクタールを刈取り、1時間程度で約13.4トン収穫しました。

収穫が行われたこの場所は、平成11年度から平成29年度に農地整備事業が行われ、大区画化された地区です。区画整理によって効率的な収穫を可能としていることがわかります。



美里町立中埜小学校・青生小学校で 田んぼダム出前講座を行いました！

11月13日、14日にそれぞれ美里町にある中埜小学校と青生小学校の小学5年生計20人ほどを対象とした「田んぼダム出前講座」を美里町産業振興課とともに開催しました。

宮城県では、近年多発する豪雨災害への対策として、水田の持つ雨水貯留能力を最大限活用し、洪水被害を緩和する「田んぼダム」の取り組みを推進しています。

この出前講座は、小学生を対象として、田んぼダムの仕組みや効果を知ってもらい、田んぼダムの取り組みへの理解向上を目的として行うものです。

「田んぼダム」とは・・・

通常の排水柵



田んぼダム型排水柵
(ロート型堰板設置)



「田んぼが元々持っている**水を貯める機能**を利用し、大雨の際に一時的に田んぼに水を貯め、ゆっくりと排水することで、**農地や市街地の洪水被害を軽減**しよう」という取り組みです。

田んぼから排水路に水を落とすための落水柵に、元々の落口より小さい口径の「堰板（調整板）」を設置し、田んぼからの排出量を抑制することで、排水路の水位の上昇を抑えます。

「田んぼダム」について気になる方は下記の県HPをご覧ください。

< <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosonshin/tanbodamu-joukyou.html> >

YouTubeで模型実験の動画を見ることができます。



講義「ちいきを守る田んぼダム～ふだんは田んぼ、ときどきダム」

▼中埠小学校



▼青生小学校



初めに、田んぼダムの仕組みや効果についての講義を行いました。田んぼダムが持つ「水を貯める能力」によって、水害を少なくする効果があることを写真やイラストを用いて紹介しました。児童の皆さんは、普段の授業では聞けない内容に真剣に耳を傾けていました。

NNクイズ!!!

問題4

美里町の小麦の収穫量は宮城県全体で収穫される量の約3割を占めている。その町内産の小麦の名前は？

- A 冬黄金(ふゆこがね)
- B 夏黄金(なつこがね)

次に、宮城県や美里町の農業・農村に関するクイズを行いました。例えば、宮城県で作られるお米の収穫量はお茶碗何杯分なのか、美里町で作られる小麦の品種の名前は何かといったクイズを出題しました。正解発表のたびに歓声が上がリ、児童の皆さんは、楽しみながらクイズを解いていました。



模型実験「田んぼダム、どんな仕組みかな？」

次に、通常の田んぼと田んぼダムの違いを比べることができる模型で実験を行いました。模型によって、雨水が田んぼに溜まり、川に流れるまでの水の流れを確認しました。児童の皆さんは、実際に田んぼダムの効果である「水を貯める能力」を見ることができ、より理解が深まっていたようでした。



ロート型堰板に絵を描いてみよう！

最後に、ロート型堰板に絵付けを行いました。田んぼダムや稲に関するもの、好きなキャラクターなど思い思いに描いていました。

絵付けした堰板は、来年度、学校周辺の田んぼに設置される予定です。



最後に、児童から「災害が起きないようにするための田んぼダムの大切さがわかった。実験や絵を描くことが楽しかった。」との感想がありました。また、クイズの内容まで細かく覚えている児童もおり、児童たちの記憶に残る出前講座となったようです。

宮城県北部地方振興事務所農業農村整備部

〒989-6117 宮城県大崎市古川旭4丁目1番1号

(宮城県大崎合同庁舎4階)

TEL：0229-91-0724

FAX：0229-23-5014

ホームページ：< <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-sgsin-ns/> >

大崎地域観光PR Facebook「アイラブオオサキ」

< <https://m.facebook.com/loveosaki?rdr> >

Instagram「東北のへそ」

< https://www.instagram.com/tohoku_hesostagram/ >

Instagram「よしきたみやぎ」

< <https://www.instagram.com/yoshikitamiyagi/> >

